



株式会社リソー教育  
代表取締役社長  
(東京都少年サッカー連盟特別顧問)

天坊 真彦

東京都選抜少年サッカー大会に出場する選手の皆さん、こんにちは。私たちリソー教育グループは、「TOMAS CUP」という形でこの大会を応援しています。今年で39回目となる長い歴史を持つこの大会は、後に海外のプロリーグやJリーグで活躍することになる選手が小学生のときに出場したこともある伝統ある大会です。そのような大会を私たちがサポートして今年で19回目になりました。こうして長年にわたってサポートできることは、私たちにとってもとても嬉しいことで、とても誇りに思っています。今後できる限り応援していきたい、と考えています。日頃から努力している皆さんの実力を発揮する場を、様々な方のご協力のもと、こうして開催できることを嬉しく思います。

さて、この大会に出場する選手の皆さんは、東京都の各ブロックから選抜された選りすぐりの精鋭たちであると聞いています。これは、皆さんの日頃の努力の賜物であり、また、非常に幸運なことでもあると思います。皆さんは日々のトレーニングを通じて、技術の上達だけでなく、チームワーク・フェアプレーの精神・スポーツマンシップ・思いやり・友情・様々な人への感謝といった大切なことをたくさん学んできたことなのでしょう。この大会を通じて、皆さんがさらに心豊かな人間として成長することを願って止みません。そして、皆さんが成長し、今後様々な舞台上で活躍することで、この大会がさらに伝統あるものに成長していくことを思うととても嬉しく思います。

選手の保護者の皆様、私たちリソー教育グループは、「勉強プラスワン」という教育理念を掲げています。お子さまにとっては、勉強はもちろん大切ですが、おけいこ事・習い事やスポーツに打ち込むことも大切です。それらを通じて様々な目標に、正面から立ち向かって頑張っている子どもたちを、当社は全力で応援したいと考えます。そして自分の好きなことに打ち込むなかで、豊かな情操を育み、「生きる力、生き抜く力」が養われるのだと思います。リソー教育グループは、少しでもその助けになりたいという想いで、これからもスポーツ・芸術・文化支援活動を始めとする社会貢献活動に取り組んでまいります。

さあ、「TOMAS CUP」の開幕です。チームの勝利のために、ゲーム終了のホイッスルが鳴るまであきらめることなく、ゴールを目指し続ける皆さんの熱いプレーを楽しみにしています。選手の皆さん一人ひとりが周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、全力で悔いのないプレーができるよう、心から祈っています。



公益財団法人  
東京都サッカー協会  
少年サッカー連盟  
委員長

吉實 雄二

長く続いた新型コロナウイルス感染症も終息を迎え、今年、「第39回 TOMAS CUP東京都選抜6年生サッカー大会」は、久しぶりに多くの観戦者を会場にお迎えして開催を迎えることが出来ます。

本年もリソー教育グループに本大会をサポートしていただきます。改めて御礼を申し上げますと共に、これにより東京都少年サッカーの活動がますます発展することを確信しております。

東京都全域で日々活動する6年生の中から、優れた技術をもった選手たちが、所属するブロックを代表して戦う誇りと自信を胸に日頃のトレーニング成果を存分に発揮してください。そして、フェアプレーと周囲をリスペクトする精神の溢れる、素晴らしいゲームが展開されることを期待しています。

選手の皆さんはこの大会で、技術はもちろん、リスペクトの精神をはじめ、たくさんのことを学び取り、将来に向けて心身ともにたくましく心豊かな人間として成長してほしいと思っています。

この選抜大会でうまく出来たこと、出来なかったことを振り返り、指導者の皆さんの話をよく聞いて、生涯楽しくスポーツが出来る大人に育って欲しいと思います。

最後になりますが、この大会をご後援いただきますリソー教育グループ様に深く感謝申し上げ、また、稲城市、稲城市サッカー連盟、大会運営役員、チームの指導者、さらにご父兄の皆様と、多くの方々のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。